

## 2018年度後期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2018年度後期				2017年度後期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	51	50	255	230	50	48	206	170
非常勤	65(68)	64	96	89	64(65)	60	98	86
総合計	116	114	351	319	114	108	304	256

注) 教員人数欄は、アンケートを実施すべき科目担当者数、( )内は総人数

※) 2018年度後期において、専任のアンケート対象講義数が2017年度後期より増加した理由については、2017年度は演習のアンケートを前期に経済学部、後期に経営学部と分けて実施したのに対し、2018年度は両学部の演習を後期に実施したためである。

### 【属性】（設問1～設問2）

アンケートに答えた学生（のべ回答者）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	1280名	18.1%
	公共政策学科	1078名	15.3%
経営学部	スポーツ経営学科	3353名	47.5%
	情報メディア学科	1345名	19.1%
計		7056名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1年次	2824名	40.0%
2年次	2146名	30.4%
3年次	1601名	22.7%
4年次	390名	5.5%
5年以上	80名	1.1%
科目等履修生他	26名	0.4%

※学部学科別総人数と学年別総人数の差11人については学科選択無回答でした。

$$\text{延べ回答者数} / \text{延べ受講者数} = \text{回答率}$$

$$7,056 / 11,220 = 62.3\% \quad (\text{2017年度後期} : 61.0\%)$$

### 【授業アンケートの実施率と回答率】

○講義数でみた授業アンケートの実施率（=アンケート実施講義数／アンケート対象講義数）は90.8%であり、前年度同期のアンケート（以下、「前回アンケート」と略記）の実施率（84.2%）に比べて上昇した。

○また学生の回答率（=延べ回答者数／延べ受講者数）も62.3%であり、前回の61.0%に比べて上昇している。回答者の構成比を学科別にみるとスポーツ経営学科（47.5%）、学年別にみると1年次生（40%）がそれぞれ最も高い割合を占めている。

### 設問3.【板書・パワーポイント・資料は分かりやすいか（読みやすいか）】

○「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は58.1%であり、「とても分かりにくい」、「やや分かりにくい」と回答した割合の合計（10.3%）を上回っている。

前回アンケートの結果（「分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合は55.9%、「とても分かりにくい」、「やや分かりにくい」と回答した割合の合計は14.4%）と比較すると、「とても分かりにくい」、「やや分かりにくい」と回答した割合の合計が減少するなど、

若干数値が改善している。

○板書、パワーポイント、資料等は、「教員の話が聞き取りにくい時、分からない時に、授業内容を理解するうえで助けとなってくれる」など、様々な理由で、その分かりやすさ、簡潔さを求める声がある。実際のアンケート上での評価としては、「板書やパワーポイント、プリントが大変整理・工夫されていて、良かった」とする声がある一方で、「板書、パワーポイント、プリントがまとまっていない」、「板書の字を丁寧に書いて欲しい」、「板書やパワーポイントの字が小さい」、「字が汚い」、「誤字脱字が多い」、「黒板を消すのが早い」「板書やレジュメの量が適正でない（多すぎる、少なすぎる）」などとする意見も一部にみられた。

#### 設問 4. 【教員の話し方・説明は分かりやすいか】

○「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 62.5%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計（9.7%）を上回っている。

前回のアンケートの結果（「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 58.6%、「分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計は 13.7%）と比較すると、若干数値が改善している。

○分かりにくさを訴える理由としては、「話すペースが速すぎる」、「ピンマイクで話すのが聞こえづらい」、「声が大きすぎる、小さすぎる」、「活舌を良くして欲しい」などが挙げられている。

#### 設問 5. 【授業内容がどの程度理解できるか】

○「とても良く理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合の合計は 62.4%であり、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合の合計（8.6%）を上回っている。

前回アンケートの結果（「とても理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合の合計は 59.9%、また「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合の合計は 11.6%）と比較すると、若干数値は改善している。

○「ポイントをちゃんと確認してくれたり、直した方が良いところなどを教えてくれた」、「具体例をだしてくれるので、とても分かりやすい」「説明が丁寧」など、教員サイドの工夫によって理解が深まったことを述べる意見が目立った。他方において、「授業内容の要点が整理されていない」、「授業が難しい」などの意見も一部に見られた。

#### 設問 6. 【授業に集中するための環境（私語、遅刻、途中退室が無い状況等）は保たれているか】

○「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合の合計は 68.5%であり、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合の合計（5.9%）を上回っている。

前回アンケートの結果（「とても保たれている」、「ある程度保たれている」と回答した割合の合計は 67.1%、「全く保たれていない」、「あまり保たれていない」と回答した割合の合計は 8.6%）と比較すると、数値は若干改善している。

○授業に集中するための環境が保たれていない理由としては、「授業中ふざけているひとがいるので迷惑」、「私語をしている人がいる」「スマホをさわっている学生がいる」「途中退

室する学生がいる」「遅刻・欠席をする学生を何とかして欲しい」などが挙げられている。この点については「教員が注意してくれないので、注意をして欲しい」とする意見がある一方で、「先生が注意しているのに、静かにならない」という声もあり、問題の根深さが窺われる。総じて受講者数の多い講義においては静穏ではない傾向が窺われる。

#### 設問 7. 【授業に意欲的に参加したか】

○「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合の合計は 67.2%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合の合計 (5.4%) を上回っている。

前回アンケートの結果（「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合の合計は 65.0%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合の合計 (7.4%)）と比較すると、若干数値は改善している。

○記述式アンケートにおいて授業に意欲的に参加させる工夫を教員がしてくれていたとする学生の声が寄せられた。

#### 設問 8. 【授業に参加してどのように感じているか】

○「とても満足」「やや満足」と回答した割合の合計は 61.0%であり、「とても不満」「やや不満」と回答した割合の合計 (7.9%) を上回っている。

前回アンケートの結果（「非常に満足」「まあまあ満足」と回答した割合の合計は 59.0%、「非常に不満」「やや不満」と回答した割合の合計は 9.1%）と比較すると、数値は若干改善している。

○満足の理由としては、「知識や技術を習得した」、「現実の事象と接する中で問題点を発見し、解決策を模索した」、「授業内容が分かりやすい」ということなどが挙げられている。実際の声を抜粋すると「すべてのテーマで知ることが多かったです。なるほどと思うことが多いから、とても楽しいと感じました。度々睡魔がきても起きていたいと思う授業でした」、「これから社会に出ていくなかでとても大切な勉強だと思う。毎時間新しいことを知れてうれしい」、「フィールドワークにおいてみんなでアイデアを出すのが面白かった」、などである。また、「学生一人一人に真摯に向き合ってくれた」「少人数で一人ひとりに教えていたので、授業についていくことができた」など、教員の細やかなサポートも高く評価されている。

○ただし、一部ではあるが、「この科目を受講する必要性を感じられなかった」とする意見もみうけられた。

#### 設問 9. 【予習・復習を毎回平均してどの程度行っているか】

○「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計、すなわち予習・復習を行っている割合は 41.9%であり、他方「ほとんどしない」と回答した割合は 58.1%であった。

前回アンケートの結果（「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計は 40.7%、他方「ほとんどしない」と回答した割合は 59.3%）と比較すると、数値としては僅かながら改善している（演習に関する授業アンケートを両学部とも後期実施で統一したことが影響している可能性も考えられる）。

○依然として授業の予習・復習をして理解を深める習慣が備わっていない学生が多いこと

が窺われる。学科間ごとに「ほとんどしない」と回答した割合をみると、情報メディア学科 (51.2%)、公共政策学科 (53.2%)、経済学科 (56.6%)、スポーツ経営学科 (63.2%) となっている。なお、今回のアンケートの全設問中最も学科間の格差が大きかったのが、この設問であった。

#### **設問 10. 【学生の理解を確認しながら授業が進められているか】**

○学生の理解が「確認されていない」と回答した割合は約 12.9%であり、約 90%近くの授業において学生の理解を確認しながら授業が進められているという回答結果となった。学科別に「確認されていない」と回答した割合を比較してみても、その格差は小さく、学科を問わず大学全体として「双方向的な授業」という問題意識が共有され、実行に移されていることが窺われる。

○学生の理解の確認の方法は授業内容の性格等により様々な方法がありうるが、どのような方法によって「学生の理解を確認」しているのかということをもとに学生からの回答によってみると、「前回の振り返り」(36.1%)、「小テストや課題」(29.7%)が多く、次いで「問答があった」(18.3%)、「その他の方法」(2.9%)となっている。

○では、こうした各種の確認方法について学生がどのように評価しているのか。概ねどの方法も授業の理解が深まることとして学生には好意的に評価されているが、とりわけ、「前回の(授業の)振り返り」を高く評価し、かつそれを要望する傾向がみられる。学生の側において「前回の(授業の)振り返り」が高く評価される背景の一つには、復習するという習慣が身につけていないという本学学生の全体的な特徴が関係しているように思われる(記述式アンケートにおいて、授業時間外での復習の習慣の少なさを「前回の(授業の)の振り返り」という形で授業時間の中で補ってもらおうとする傾向が窺われる)。

「小テストや課題」については、やはり復習の習慣の少なさを補ってくれるなどの理由で高く評価する声(「授業中にやってくれると、復習の代わりになる」、「復習しながら覚えることができる」等々)があるものの、逆に「小テストや課題」を減らして欲しいとする声もあり、評価が多少分かれる。その理由としては様々なものが考えられるが、「小テストや課題」の方が「前回の振り返り」よりも学生の負担感が大きいことも関連しているように思われる。本学の多様な学生層の存在が窺われる。

「問答」については、「問答によって理解が深まった」など概ね好評であるが、その一方で「みんなの前で質問等をする人なんていないのに、しつこく質問意見等がないか聞いてくるのはやめて欲しい」とする意見もある。

#### **【設問 11 および 12 の結果 (記述式アンケート) の概要】**

設問 11 および 12 は記述式アンケートであり、順に「この授業で大変良かった点と思われる点」、「この授業で工夫・改善して欲しいと思われる点」を問うものとなっている。両者合わせて 1935 件の回答があったが、その構成比をみると前者 74.4%、後者 25.6%となっており、授業の良かった点を述べる記述が大半を占めた。

設問 11 および 12 の個別の結果については、以下のとおりである。

#### **設問 11. 【この授業で大変良かったと思われる点】**

本学のゼミナール大会への参加、ソフトピア共同研究室などの機関との連携、演習活動、

講義科目等を通しての教員の細やかな準備、指導、工夫等を評価する声が寄せられた。

以下、抜粋

- ・「ゼミナール大会を頑張れた」。
- ・「授業時間外にソフトピア共同研究室も利用できたので定期的に論文、研究を進行できた。
- ・「グループワークを取り入れることで新たな発見があった。個別でしっかりみてもらったので良かった」。
- ・「学生に考えさせていて良かった（自分たち自身で考える力を養うことができた）」。
- ・「適切なフィードバックをしてくれる」。
- ・「小テストで上位に入り続ければ加点があり、学生を自主的に勉強する気にさせていた点が良かった」。
- ・「丁寧に解説してくれる」

#### 設問 12. 【この授業で工夫・改善して欲しいと思う点】

板書・パワーポイント・資料等の工夫を求める声、施設の改善を求める声、出席の取り方の改善を求める声などが寄せられた。

以下、抜粋

- ・「教室の PC のスペックが良くない。起動直後にフリーズでシャットダウン再起動を繰り返すことで時間がとられる」。
- ・「教室が暑かったり、寒かったりした」（エアコンの管理）。
- ・出席の取り方に問題がある。（アプリを介した出席確認の問題を指摘する声や出席を 2 回とったりすることは非効率であるとする意見）
- ・教員の話のポイントが不明確。聞き取りにくい。
- ・板書、パワーポイントが分かりにくい、等。
- ・「テスト持ち込み不可は大変」。

以 上